

2017年5月16日

## 湖北省初の日系企業向け投資プレゼンテーション開催

昨日の昼、日本小糸製作所の顧問である大嶽隆司氏と孝感共産党委員会(市委)書記の勝剛氏は堅い握手を交わした。湖北省初の日系企業向け専門投資プレゼンテーションが孝感市にて行われ、大嶽隆司氏が1人目の「孝感市委、市政府高級経済顧問」に任ぜられた。孝感矢崎汽車部件有限公司の取締役である稲田隆氏、湖北小糸有限公司総経理である飯田茂幸氏、シークス電子(湖北)有限公司取締役である楊裕成氏、孝感TS公司取締役である村山功氏、湖北友成樹脂金型有限公司総経理である許勇氏など5人の日系企業CEO及び3社の日系企業と関係の深い中国系企業のCEOが「孝感市招商大使」に任ぜられた。

日系企業投資専門プレゼンテーションの開催は孝感市が省委、省政府が推進する外資誘致促進「一号工程」の具体的な取組となる。代理市長の呉海涛氏の紹介によると、世界自動車ライト業界でナンバーワンである小糸製作所社長の三原泓志氏、日立工程建築(中国)有限公司取締役の木下千春氏など31社の企業70人余りの代表者が会議に出席し、その内、日系企業は25社で、7社が世界トップ500に入っている。

近年、孝感市は主に外資誘致、特に日系企業に向けての外資誘致に力を入れて、湖北省で初めて日系企業産業圏を設立した。現在23社が駐在しており、外資企業のうち60%を占めている。

2017年5月19日

## 湖北省初の民営銀行が開業

昨日、湖北省初の民営銀行―「武漢衆邦銀行」が正式に開業した。同行は国内で初めての取引サービス銀行となり、専門市場の中小企業の取引をターゲットにしている。国内の微衆銀行、網商銀行と同様にインターネット銀行となり、貯金誘致、貸付を主にネットで行う。

紹介によると、衆邦銀行は金融サービスを軸としてインターネット、ビッグデータ、人工知能などの技術を用いて、産業供給チェーンと中核企業を結びつけ、専門市場の取引ユーザーのために融資サービスを提供して、中小企業の融資困難を緩和する。

現在、衆邦銀行の株主は既に卓爾雲市、華棉網、中農網、壹葉網などの10余りの取引プラットフォームを設立し、年間取引金額は5000億元を上回り、20万を超えるユーザーが活躍している。衆邦銀行はプラットフォームの中小企業に対してネットで情報を提供し、「即時払」などの製品にドッキングさせ、無抵当、無担保融資サービスを提供する。ビッグデータとクラウド計算の分析を通して、貸付のリスク低下を実現する。